

## 子育て支援



**問** 妊娠・出産包括支援事業について。

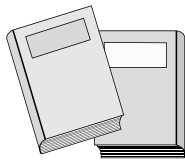
**答** 福祉会館の相談窓口にて、専属の保健師1名をコーディネーターとして設置し、「妊娠期から子育て期」を切れ目なくサポートしていきます。

様々な子育て支援・子育て事業を円滑に進められるよう、健康課・こども未来課・地域福祉課がしっかり連携していきたいと考えています。

## 教育

**問** 学力向上プロジェクト事業における、図書の選定方法について。

**答** 従来の図書購入費は、各クラスごとに予算を割り当てていましたが、学校規模によってはわずかな図書しか購入できず、補修をしながらなんとか利用している状況でした。



当面、1校あたり50万円を均等に割り当て、蔵書の充実と読書活動の推進を図っていきます。また、図書の選定は、図書館のコーディネーターが加わり、各学校が決定します。

一方、図書館では、各学校への訪問貸し出しも実施しています。蔵書は各校とうまくすみ分けをしながら、子供たちが関心を持って読める図書を増やし、さらに連携を図りたいと考えています。

**問** 学習支援事業のねらいについて。

**答** 生活困窮家庭の子供たちは、複合的な課題をはらんだ「貧困の連鎖」の中にあり、学習の機会が少ない傾向があります。そこで、相談にかかわっている子供たちを1カ所に集め、学習塾のような形で実施したいと考えています。

## 国民健康保険特別会計

**問** 優良世帯表彰は、病院に行かなかった方を対象としているが、病気の予防や重症化を防ぐ観点から見直してはどうか。



**答** 優良世帯には、特定健診や人間ドックの助成券を「これを機会に一度健診を受けてください」との意味を込めて配布しており、今後も啓発していきたいと考えています。

## 介護保険特別会計

**問** 認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの連携について。

**答** 警察・消防・区長会・老人会等に加えて、外回りの仕事をされる民間企業へもご協力をお願いしたいと考えています。また、広域捜査については、基本情報を提供し協力していますが、各市町の登録制度に統一がないため、今後は自治体間の協力方法を協議していく必要があると考えています。

## 水道事業会計

**問** 近隣が水道料金の値上げをしているなか、20%の水道料金値下げは赤字にならずに維持できるのか。

**答** 県水・市川町の受水費の値下げや工事費の削減などにより、利益積立金を取り崩すことはありません。今後数年間は値上げにはつながらないものと見込んでいます。

## 下水道事業会計

**問** 水洗化促進について。

**答** 水洗化促進補助金が創設されたことについて、一つの地区に重点を置いた広報に努めた結果、71件の申請が出るなど一定の効果がありました。今後、各地区を回り、水洗化につなげていきたいと考えています。

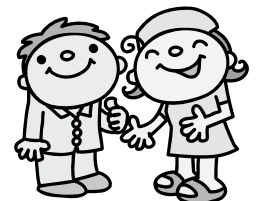
**問** 農業集落排水やコミプラの処理施設を統廃合した場合、廃止施設はどうなるのか。

**答** 補助事業で建設しているため、解体して更地にすることができません。地元で有効利用していただく方向で今後協議していきます。

## 病院事業会計

**問** 一般会計から病院への繰出金は9億円で足りるのか。

**答** 長期的な視野に立って今後5カ年の収支状況を捉え、不良債務を避けるために市と協議した結果、十分な資金とはいきませんが、今後5年間程度は何とかやっていける状態が確保できたと考えています。



**問** 加西病院にとって重要である内科・精神科・神経内科・整形外科の医師が3月末で退職となるが、収益面などに影響はないのか。

**答** 内科医が多く減少するため、入院患者数等に影響が出るかもしれませんが、医師確保については、院長をはじめとして多方面へ働きかけているところです。引き続き努力したいと考えています。